

環境調査結果のお知らせ

令和6年5月29日12時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

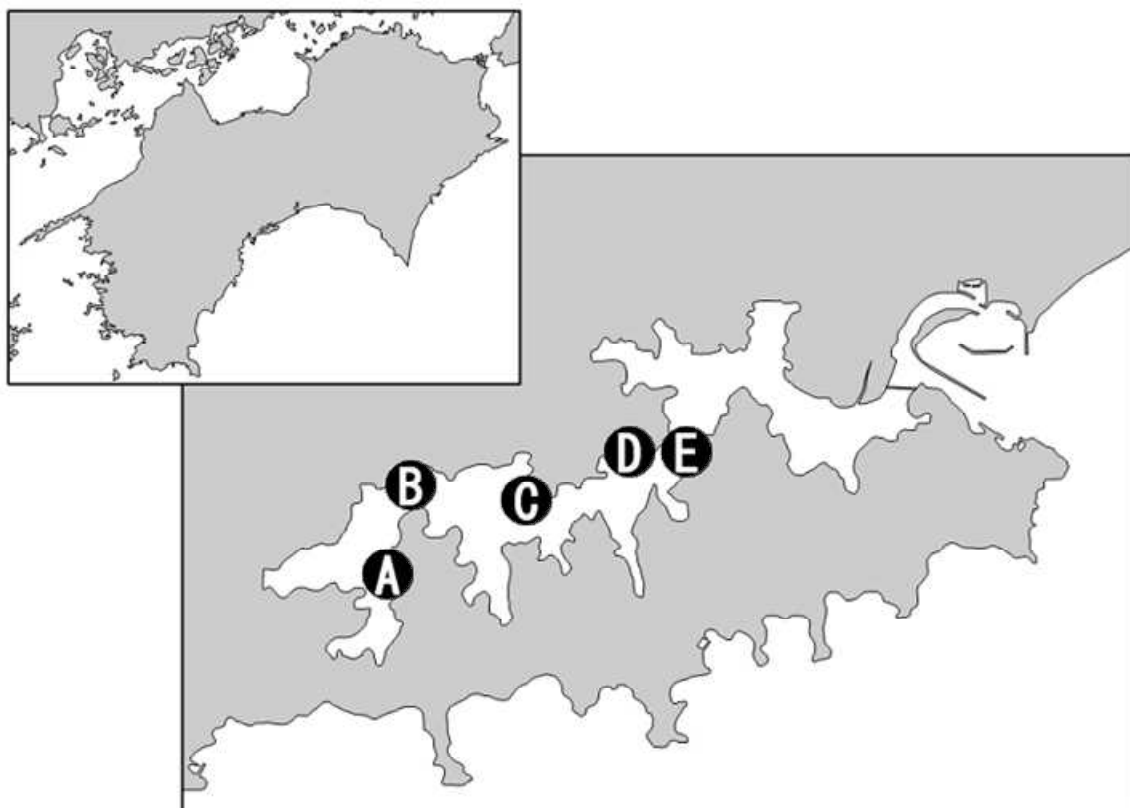
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で230 cells/ mL、デイクチオカ属が364 cells/mL、ケラチウム属が最高で820 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えているので、十分注意してください。また、麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属が最高で143 cells/mL確認されました。アレキサンドリウム属は、貝類（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので、十分注意してください。

鳴無を除く定点の底層が貧酸素状態となっています。

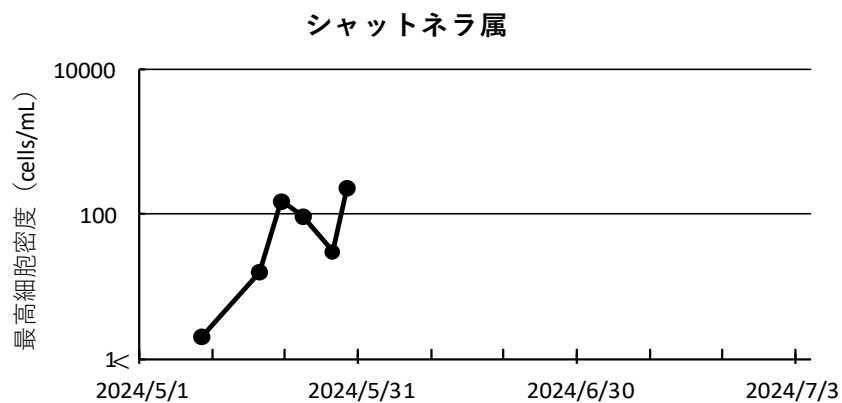
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	デイクチオカ	ケラチウム	アレキサンドリウム
	(m)	(°C)		(mg/L)	属	属	属	属
A 鳴無 (1m) 【12:19】	0	23.0	12.2	8.8	0	0	0	0
	2	23.3	26.7	9.5	114	54	13	0
	5	21.9	30.6	6.7	52	364	0	0
	底層 8	21.1	30.8	3.6	46	2	0	0
B 中学校前 (0.9m) 【12:28】	0	22.9	8.6	8.8	0	0	0	0
	2	22.6	23.3	12.1	230	120	820	22
	5	22.3	30.6	7.5	31	93	22	0
	10	21.1	30.9	3.0	11	4	6	0
底層 11.5	20.9	30.9	1.6	5	12	0	0	
C 目ノクツ (1m) 【12:37】	0	23.4	11.4	8.9	0	0	0	0
	2	22.7	24.9	13.1	0	1	280	12
	5	22.6	30.6	8.5	2	7	160	0
	10	21.5	31.0	4.9	0	6	14	0
底層 14.5	20.9	31.1	2.7	0	0	0	0	
D 光松 (1.1m) 【12:46】	0	22.8	15.3	10.2	0	0	2	0
	2	22.0	23.9	10.6	0	0	549	143
	5	22.6	30.7	7.3	0	2	10	0
	10	21.6	31.1	4.8	0	0	0	0
底層 16	21.0	31.2	1.9	0	0	0	0	
E 大鹿 (1.3m) 【13:00】	0	23.0	15.1	9.4	0	0	240	9
	2	22.0	23.7	10.7	0	0	380	46
	5	22.4	30.7	6.6	0	1	26	0
	10	21.5	31.1	4.5	0	0	0	0
底層 15.5	20.9	31.2	2.0	0	0	0	0	



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。